





中久保さんのある1日

- 8:00 ● 出勤途中に事務部長と出会い、雑談
- 8:30 ● 始業、本日のスケジュールの確認
- 10:00 ● 病院運営企画室の先生方と事前打合せ
- 12:00 ●  昼食後、同僚と雑談
- 14:00 ● 事務部長らと病院事務職員座談会打合せ
- 15:00 ● 病床運営管理部コアミーティング
- 16:00 ● 病院運営企画室 定例ミーティング 
- 17:15 ● 翌日のタスクを整理して、退勤
- 18:00 ● 仕事帰りに買い物
- 19:30 ● テレビでサッカーを観戦しながら夕食

経営管理課 経営分析掛

Management Division, Kyoto Univ. Hospital

中久保 愛

Ai Nakakubo

2012年 入職

入職後、受付・会計業務、医療安全・患者相談窓口に関する業務、入院会計・レセプト請求に関する業務などを経験し、2022年4月、経営管理課経営分析掛に異動。
現在は、病院経営に関わるデータの収集・分析・提案、病院運営企画室に関する業務、病床運営管理部に関する業務、HOMAS2(国立大学病院管理会計システム)に関する業務、病院データに関する各種照会対応などを担当。



中久保さん の京大病院で仕事をするうえで大切にしていること を聞きました

VW

これは学生時代に山中伸弥教授の講演で聞いた言葉で“Vision & Work hard”の意味です。何かを進める時、目の前のことに集中してハードワークしてしまいがちですが、全体のビジョンを意識することを大切にしています。

相手を尊重する

患者さん、医療スタッフ、事務職員など、皆それぞれ異なる背景や文化を持つので、時に意見が対立することもあります。どちらかが正しいと決めつけるのではなく、相手を尊重し、相手を理解するよう努めています。

元気をシェアする！

以前同僚に「顔を見ると元気が出る」と言われたことがあり、勝手ながら元気をシェアするつもりで声掛けや心配りができるよう意識しています。

病院では、患者さんと直に接することで得るやりがいもあれば、病院への貢献を実感することで得るやりがいもあり、どの部署でも、多くの刺激を受け日々の業務にあたることができます。また、院内の研修に限らず、京都大学や国立大学病院の研修に参加する機会も多く、私自身も海外研修を二度経験するなど、多くの研修で視野を広げてきました。京大病院は、様々なチャンスを得て、自分の可能性を広げ、活躍できる場だと思っておりますので、ぜひ、京大病院職員としての「ビジョン」を考えてみていただければと思います！